

【被動(受身)】

◎ Warm up

1. 複習：

以下句子都有錯誤，請指出錯誤並改成對的句子。(請參考『大家的日本語 進階 I』37 課)

- (1) 昨日帰りが遅くて、私に父は叱られました。
- (2) 試験で 100 点を取って、私に先生をほめられました。
- (3) 私の足は隣の人に踏まれました。
- (4) 昨日私の財布を泥棒が盗まれました。
- (5) 金閣寺は足利義満あしかがよしなつ たに建てられました。
- (6) 大阪で展覧会が開きます。

2. もう一步進んで (再往前進一步 GO!!)

☆ 以下的句子也用表示被動的「れる・られる」，請思考一下這三個句子的意思。

- (1) A さんは交通事故で恋人に死しなれました。
- (2) 昨日一晩中、赤ちゃんに泣なかれて、眠れませんでした。
- (3) 私は隣の人に大きなビルを建たてられて、日が当たひ あらなくて困こまっています。

☆ 被動句中動作者之後的助詞是用「に」，但以下的句子裡動作者之後用「から」較合適，或是「に」或「から」兩者皆可使用。

- (1) 卒業の日に友達はなたばから花束おくを贈られました。
- (2) 彼は学生そんけいに／から尊敬されている先生です。

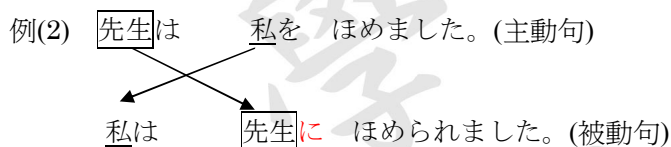
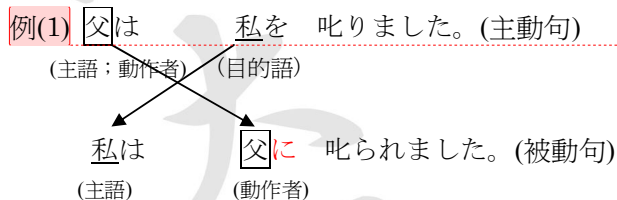
☆ 表示物品的原料物時，原料物之後用「から」。

- (1) ビールは大麥おおむぎから作られます。

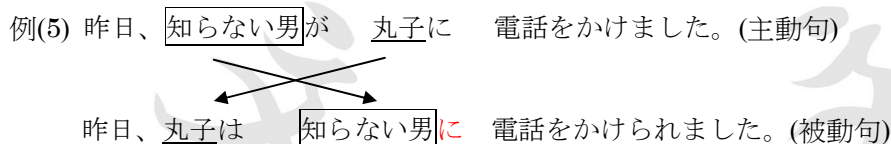
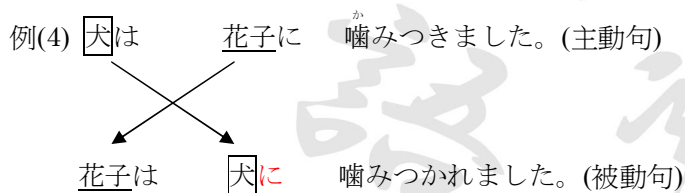
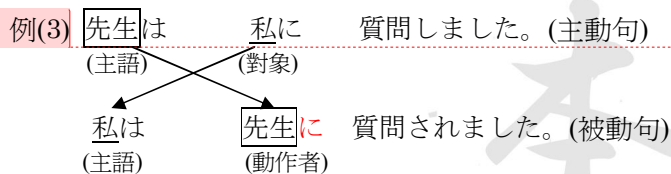
◎解說：被動の各種用法

1. 直接被動：

☆ 例(1)(2)主動句的目的語「私」在被動句變成被動句的主語。注意在被動句裡動作者「父」、「先生」後面的助詞用「に」。



☆ 例(3)(4)(5)主動句的對象「私」、「花子」、「丸子」在被動句變成被動句的主語。注意在被動句裡動作者「先生」、「犬」、「知らない男」後面的助詞用「に」。



註解 [葉1]: 「父は私を叱りました。」要让罵人這個動作成立要有兩個登場人物，一個是罵人(動作者)的「父」一個是被罵的「私」。敘述罵人這個動作時，站在罵人者(動作者)「父」的立場來表現時就是用「父」當主語，使用主動句來表示。

而要用被罵的「私」的立場來說明這件事時，就把原來在主動句裡是目的語的「私」拿出來當被動句的主語，再把原來在主動句裡是主語的「父」放到動作者的位置，接上助詞「に」，動詞從主動的「叱りました」改成表示被動的「叱られました」。

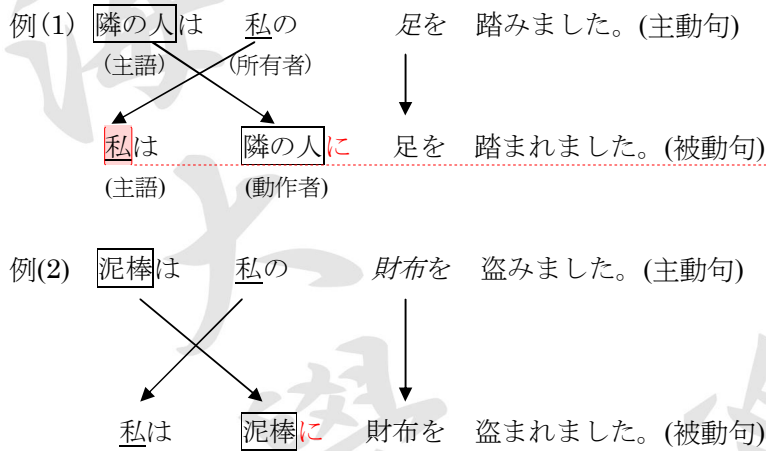
句型及動詞變化的解說請參考『大家的日本語 進階 I』37 課。

註解 [葉2]: 主動句中「私」之後的「に」是表示對象。(請參考『大家的日本語 初級 I』7 課)

主動句是以「先生」的立場敘述問題這件事。

而以被問問題的「私」的立場來敘述這件事時，把在主動句裡是對象的「私」拿出來當被動句的主語，再把原來在主動句裡是主語的「先生」放到動作者的位置，接上助詞「に」，動詞從主動的「質問しました」改成表示被動的「質問されました」。

2.所有者被動：以被動句描述身體的一部分或是所有物受到某個動作影響時，使用於被動句的主語是主動句裡表示身體的一部分或是所有物的所有者。注意在被動句裡動作者後面的助詞用「に」。



註解 [案3]:「踏みました」這個動作要成立有兩個登場角色，一個是踩的人，一個是被踩到的人或物。這個例句中被踩到的是「私の足」，而「足」是「私」的身體的一部分，由於被踩到的是「私」的身體的一部分，因此在日語裡要用所有者被動來表示。

以所有者被動表示時，把主動句裡「私の足」的「私」抽出放到被動句裡當主語，再把原來在主動句裡是主語的「隣の人」放到動作者的位置，接上助詞「に」，動詞從主動的「踏みました」改成表示被動的「踏まれました」。

注意動作者「隣の人」後面助詞用「に」。

3.被動句中動作者後的助詞用「に」，但是當動作是「書く、作る、建てる、発明する、設計する…」等表示創造的動詞時動作者之後則多使用「によって」。

- 例(1) 聖徳太子^{しょうとくたいし}は 607 年に法隆寺^{ほうりゅうじ}を建てました。
 ⇒法隆寺は 607 年に聖徳太子^{しょうとくたいし}によって建てられました。
 (動作者)
- 例(2) 紫式部は源氏物語を書きました。
 ⇒源氏物語は紫式部によって書かれました。
- 例(3) 伊東豊雄^{いとうとよお}は 2009 ワールドゲームズスタジアムを設計しました。
 (2009 世界運動會主場館)
 ⇒2009 ワールドゲームズスタジアムは伊東豊雄^{いとうとよお}によって設計されました。

{ 彼女はこのケーキを作りました。
→ ??このケーキは彼女によって作られました。

「このケーキ」雖然是被創造出來的創造物，但是此句型多使用在文章書寫，因此不適合使用此句型。此被動句型的主語多為表示建築物、作品的名詞。

4. 敘述某項活動、社會事實，無法特定其動作者或是動作者為不特定多數時，在日語中用被動句型表示。

☆ 敘述活動、社會事實。此時通常省略動作者。此時主語為表示活動、社會事實的無情物。

例(1) 日本語ディベート大会は年一回開かれます。

例(2) 明日国立競技場で嵐のコンサートが開催されます。

例(3) 80%のノートパソコンは台湾で生産されています。

例(4) 電車は通勤の手段としてよく利用されます。

註解 [葉4]: 針對「日本語ディベート大会」說明這個活動是「年一回開かれます」。

☆ 敘述社會事實。無法特定動作者或是動作者是不特定多數。

例(1) 夏目漱石の『こころ』は多くの人に読まれています。

例(2) あの歌は今でも卒業の歌として人々に歌われています。

例(3) 美空ひばりは「昭和の歌姫」と言われています。
(美空雲雀，已故日本歌手)

註解 [葉5]: 不特定多數。

註解 [葉6]: 不特定多數。

註解 [葉7]: 無法特定動作者。

♪♪『大家的日本語 進階 I』37 課的用法複習到此結束，接下來請看其他的用法 GO!!

5.間接被動(被害被動)：間接被動(被害被動)是日語特有的用法。由下列例句可以看出被動句的主語原本並**不存在於主動句的句子裡**。在間接被動(被害被動)的用法裡，主語帶有受到困擾的意思。

例(1) 子供が泣きました。(お母さんが困りました。) (主動句)

⇒お母さんは**子供**に泣かれました。(被動句)

⇒お母さんは**子供**に泣かれて、困りました。(被動句)

例(2) 太郎が来ました。(次郎が困りました。) (主動句)

⇒次郎は**太郎**に来られました。(被動句)

⇒次郎は**太郎**に來られて、困りました。(被動句)

例(3) 隣の人が一晩中ピアノを弾きました。(私はよく眠れませんでした。) (主動句)

⇒私は**隣の人**に一晩中ピアノを弾かれました。(被動句)

⇒私は**隣の人**に一晩中ピアノを弾かれて、よく眠れませんでした。(被動句)

例(4) ライバルが先に論文を発表しました。(私はとても悔しかった。) (主動句)
(競争對手)

⇒私は**ライバル**に先に論文を発表されました。(被動句)

⇒私は**ライバル**に先に論文を発表されて、とても悔しかった。(被動句)

註解 [葉8]：比如例(1)主動句原句裡只有「子供が泣きました。」並沒有別的登場人物。

註解 [葉9]：「子供が泣きました」跟「お母さん」沒有直接的關係，在「子供が泣きました」這個句子裡「お母さん」也不存在。但是「お母さん」對於「子供が泣きました」這件事感到很困擾。在日語中如何描述「お母さん」是因為「子供が泣きました」感到困擾就是利用間接被動(被害被動)句

在被動句裡把「お母さん」拿過來當主語，「子供」是動作者，後面助詞用「に」再接上改為被動形的「泣かれました。」

6.被動句表示動作者的助詞用「に」，但以下句子裡動作者之後的助詞用「から」較合適，或是「に」或「から」兩者皆可使用。

☆ 動作者之後用「から」較合適：

動詞是「与える、贈る、渡す、プレゼントする…」等表示給予、交給類的動詞時，動作者之後的助詞用「から」。

例(1) 花子が私に大事な書類を渡しました。

⇒私は花子**から**大事な書類を渡されました。

註解 [葉10]：「花子」是「書類」的來源、起點，因此動作者「花子」後用有表示起點意思的「から」較合適。

例(2) 花子は憧れの会社あこがから面接めんせつのチャンスを与えられました。

註解 [葉11]: 「憧れの会社」是「面接のチャンス」的來源、起點，因此動作者「憧れの会社」後有用表示起點意思的「から」較合適。

☆ 動作者之後「に」或「から」兩者皆可使用：

a. 動作者是動作的起點、來源時，動作者之後的助詞可以用「から」。用「に」和「から」的不同之處在於用「に」是表示動作者，用「から」是表示動作者是動作的起點、來源。

例(1) 私は林さん {に/から} 田中さんを紹介されました。

例(2) 花子は田中さん {に/から} 買い物を頼まれました。

註解 [葉12]: 用「から」表示「田中さんを紹介されました」這個動作是來自「林さん」。也就是「林さん」是「田中さんを紹介されました」這個動作的起點、來源。

b. 動作者是情感、語言的起點、來源時，動作者之後的助詞可以用「から」。用「に」和「から」的不同之處在於用「に」是表示動作者，用「から」是表示情感、語言的來源。表情動的動詞例如「尊敬する、信賴する、祝福

する、感謝する、愛する…」，表語言的動詞例如「注意する、誘う、声をかける…」等。

例(1) 彼女はスタッフ {に/から} 信賴されています。

例(2) 美空ひばりは今でも多くのファン {に/から} 愛されています。

註解 [葉13]: 用「から」表示「信賴されています」是來自「スタッフ」。也就是「スタッフ」是「信賴されています」的起點、來源。

例(3) 私は授業中 居眠りをしました。(私は) 先生 {に/から} 注意されました。(打瞌睡)

註解 [葉14]: 前面有「私」，所以這裡的「私」可以省略。

7. 表示物品的原料物時，原料物之後用「から」。

例(1) 焼酎は米か麦しょうちゅうから作られる日本のお酒です。

註解 [葉15]: 「焼酎」的原料物

例(2) 今話題の生キャラメルは牛乳なまと生クリームなまから作られるスイーツです。
(鮮奶糖) (鮮奶油) (甜點)

註解 [葉16]: 「生キャラメル」的原料物

小提醒：被動句的主語若是「私」(第一人稱)，有時會省略不用。

例：昨日、(私は) 父に叱られました。

今朝、(私は) 隣の人に足を踏まれました。

(私は) ライバルに論文を先に発表されました。

(私は) 花子から大事な書類を渡されました。

参考文献

安藤節子・小川誉子美 (2001) 『日本語文法演習 自動詞・他動詞、使役、受身ーボイスー』スリーエーネットワーク

市川保子 (2005) 『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

グループ・ジャマシイ (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版

松岡弘監修、庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘著 (2000) 『初級を教える人のための日本語ハンドブック』スリーエーネットワーク

吉川武時・金子比呂子・横田淳子・飯野清士・五味政信・豊田豊子・吉岡英幸・熊井浩子 (1987) 『日本語教師養成通信講座 B-3 日本語の文法 (3)』アルク